

請求の範囲

- [請求項1] 有価物を含む対象物を熱処理してアルミニウムを溶融させて溶融物を分離する熱処理工程と、
前記溶融物を分離した後に残った熱処理物を破碎して破碎物を得る破碎工程と、
前記破碎物に対し、磁力により前記有価物を選別する磁力選別工程と、
前記有価物に対し、風力により一の有価物と他の有価物とを選別する風力選別工程と、
を含むことを特徴とする有価物の選別方法。
- [請求項2] 前記対象物がリチウムイオン二次電池である、請求項1に記載の有価物の選別方法。
- [請求項3] 前記リチウムイオン二次電池がアルミニウムを含む筐体を有する、請求項2に記載の有価物の選別方法。
- [請求項4] 前記風力選別工程に供する前記有価物が、前記磁力選別工程で得られた非磁着物である、請求項1から3のいずれかに記載の有価物の選別方法。
- [請求項5] 前記一の有価物がアルミニウムであり、前記他の有価物が銅である、請求項1から4のいずれかに記載の有価物の選別方法。
- [請求項6] 前記熱処理工程において、前記対象物を660℃以上1,085℃未満で熱処理する、請求項1から5のいずれかに記載の有価物の選別方法。
- [請求項7] 前記破碎工程に後に、前記破碎物を篩分けすることにより、前記破碎物を篩上物と篩下物とに分級する分級工程を更に含み、前記分級工程の後に、前記篩上物に対し前記磁力選別工程を行う、請求項1から6のいずれかに記載の有価物の選別方法。
- [請求項8] 前記分級工程において、目開きが0.6mm以上2.4mm以下の篩により篩分けを行う、請求項7に記載の有価物の選別方法。

[請求項9] 前記風力選別工程において、
 前記有価物を落下させ、
 前記有価物を落下させる際に、前記有価物の落下方向と交差する方向に風を吹き付けることにより選別を行う、請求項1から8のいずれかに記載の有価物の選別方法。